

氏名	赤地 凌	GitHub URL	<a href="https://github.com/akachiryo">https://github.com/akachiryo</a>
----	------	------------	---

## ◆習得スキル

設計	ER図, テーブル定義書, 詳細設計書
プロジェクト管理	WBS
フロントエンド	Vue.js, Javascript
バックエンド	Ruby, Ruby on Rails
インフラ	AWS(EC2, RDS, AMI, EIP, S3), DNS
その他	RSpec, GitHub Actions(CI/CD)

## ◆ポートフォリオ

サイト名	MennRenn
サイトURL	<a href="https://mennrenn.com/">https://mennrenn.com/</a>
テストユーザ	ゲストログイン機能実装(パスワード無しでログインできます)
GitHubURL	<a href="https://github.com/akachiryo/mennrenn_vue/blob/main/README.md">https://github.com/akachiryo/mennrenn_vue/blob/main/README.md</a>
サービス詳細	面接練習がしたいとき、気軽に練習相手をマッチングして見つけることができるアプリです。 面接練習の条件(時間、業種等)を指定した部屋を作成し、マッチングする相手を探します。こちらから、条件に合う部屋を探すこともできます。

## 重視したこと

## 気軽に使えること

面接練習最大の難点が、練習するまでの手間だと考えます。その手間を解消するためのアプリなので、気軽に使えることに焦点を置きました。具体的な工夫として、以下の点が挙げられます。

- ・一目で使い方がわかるUI
- ・新規登録、部屋の作成までの手間を極力減らす。

## 取り入れた技術

## 開発環境

- OS: Linux(CentOS)
- 言語: HTML, CSS, JavaScript, Ruby, SQL
- フレームワーク: Ruby on Rails, Vue.js
- IDE: VScode

## 機能

- ログイン機能(devise)
- レスポンシブデザイン (Flexbox, Bootstrap)
- 環境変数化 (bash\_profile)
- テスト (RSpec)
- GitActions (CI/CD)
- 検索、コメント、通知、タグ等

## エンジニアからのポートフォリオへの所感

全体的に余裕をもって丁寧に作り込まれて、かつ、しっかりとチャレンジもされています。  
カリキュラムで学んだRuby On Railsの基本的な部分を網羅し実践しながら、  
gemを使わない検索やタグ機能・DM機能など多数挑戦することができています。  
また、目には見えない部分ではありますが、Rubocupを導入しコードを綺麗に書くことができています。  
機能面でも多数の機能にチャレンジし、コードを綺麗に書くことにも着目できており、  
大変勉強熱心な印象を受けました。サービス全体で綺麗なデザインができていたり、  
サービスとして細かなユーザビリティ支援のために自分で調べてきたことを実践できていたり、  
総合的にレベルが高く、丁寧に作り込みができています。

## ◆学習カリキュラム以外の自主学習内容/学習計画

### スクール入学以前

2021/06/15 学習開始  
2021/06/30 Progateを中心に、HTML,CSS,Rubyの学習

### スクール受講中

2021/07/01 DMMWEBCAMP 受講開始  
HTML,CSS,Ruby,Ruby on Railsを学習(学習内容詳細)  
2021/08/11 ECサイトのチーム開発開始  
Udemyの学習(Github,AWS)  
2021/09/01 ポートフォリオの作成開始

### スクール卒業後

2021/10/01 プロを目指す人のためのRuby入門 学習開始  
2021/11/08 RailsTutorial 学習開始  
2021/11/22 Ruby on Rails 速攻実践ガイド 学習開始  
2021/12/07 Docker 学習開始  
2021/12/14 Vue.js 学習開始  
2022/01/02 二個目のポートフォリオ作成開始

今後の予定  
・ポートフォリオの追加機能  
・新たなサービス

## ◆チーム開発の本人評

### チーム内で担った役割・担当、意識して取り組めたこと

チーム開発では、「いつでも相談できるチームメイト」のポジションを意識しました。Remoというアプリを使用しチーム開発を進めました。チームがいつでも声をかけられるよう、Remoのチームテーブルには常に着席していました。結果、エラーが出たときにはチームで考え、すぐに解決することができました。エラー開発が止まる時間を最小限に抑えられるため、余った時間をレイアウトや独自の機能追加へ当てることができました。

### チーム開発で得た学び(経験や他者の行動など)

#### チームで気軽に話し合える環境

これにより、以下2点の効果を実感することができました。

#### ・開発スピードの向上

エラーが出たとき、機能の実装が予定よりも早く終わり調整するとき等、チーム開発をしているとコミュニケーションを取らないと先に進めない場面が多くあることを痛感しました。もし、気軽に声をかけられる環境がなかったら、無駄な時間が生まれ開発が滞っていました。

#### ・クオリティの向上

始めに立てた設計どおりに開発を進めますが、途中で追加したい機能やレイアウトが思いつきます。チーム開発は3人で行ったので、単純計算で3倍アイデアが思いつくこととなります。また、アイデアについても話し合うことで、思い付きがより洗練された状態で実装されます。お互いに意見を出し合える環境で良かったと感じました。

以上を踏まえ、チームで気軽に話し合える環境作りが大切だと感じました。

今回は3人でしたが、現場に出たときはより多くの人と開発を進めることになります。自分はもちろん、チーム全体が協力して開発できる空気作りを自分ができるよう目指していきます。

チーム開発で他者から得た評価、もしくは自身が発揮できたこと

エラーの解決スピードが早い

チーム開発終了後、お互いに感謝や感想を伝える機会があり、他のメンバー二人から「エラーの相談をすると素早く解決してくれたので助かった」と言われました。エラーを解決するには、エラーの原因の特定、解決方法の模索、解決という過程がありますが、それらを論理的に処理できる能力に長けていると感じました。課題解決能力は、現場に出たとき色々な場面で役立つので、これからもこの長所を伸ばしていきます。

## 学習内容詳細

受講期間	内容	環境・言語等
フェーズⅠ	<p><b>プログラミング学習</b></p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントエンドの基礎的な技術を身につけ、ワイヤーフレームを元にレスポンス対応のWebサイトを作成する力を身に付けます。</li> <li>・サーバサイドとして、Ruby on RailsでのCRUD機能の実装をしながら、MVCモデルを学び、gemを利用した各種機能、多対多のアソシエーションを実装。簡易的なサービスを作成する力を付けます。</li> <li>・フロントエンド及び、サーバサイドを学びながら、Githubでのソース管理、BootstrapでのWebサイト制作、AWSの基本サービス、Javascriptでの柔軟なWebサイト制作を実践します。</li> </ul> <p>【詳細】</p> <p>HTML/CSS基礎、レスポンス機能の実装</p> <p>Ruby基礎</p> <p>Ruby on Railsにて、以下機能の実装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なCRUD機能</li> <li>・ログイン機能</li> <li>・マイページ機能</li> <li>・画像投稿機能</li> <li>・コメント機能</li> <li>・ページング機能</li> <li>・入力項目バリデーション機能</li> <li>・ライブラリ(devise,refile,kaminari)による機能の実装</li> <li>・部分テンプレートによるコード効率化</li> </ul> <p>Bootstrapの理解と実装</p> <p>GitHubによるソース管理の理解と使用</p> <p>AWS(EC2/RDS/AMI/EIP)の理解と実装</p> <p>JavaScriptで外部APIと連携したWebサイト制作</p> <p>【課題】</p> <p>記載のURLはサンプルです。本人が制作したものではありません。 課題は設計図、もしくは要件のみを提示し、開発してもらいます。</p> <p>1.レスポンス対応のコピーサイト制作  <a href="https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/wals/uploads/wals2_content_img/327/wals-front/index.html">https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/wals/uploads/wals2_content_img/327/wals-front/index.html</a></p> <p>2.Ruby on Railsでの基礎的なCRUDページ  <a href="https://bookers-level1.herokuapp.com/">https://bookers-level1.herokuapp.com/</a></p> <p>3.Ruby on Railsでの応用的なページ  <a href="https://bookers-level2.herokuapp.com/">https://bookers-level2.herokuapp.com/</a></p> <p>login name: サンプルタロウ  login pass: password</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- OS Linux(CentOS)</li> <li>- 言語 HTML,CSS,JavaScript,Ruby,SQL</li> <li>- フレームワーク Ruby on Rails</li> <li>- CSSフレームワーク Bootstrap</li> <li>- JSライブラリ jQuery</li> <li>- インフラ AWS(EC2,RDS,AMI,EIP)</li> <li>- テストフレームワーク RSpec</li> <li>- その他ツールなど AWS Cloud9, Slack, GitHub</li> </ul>
フェーズⅡ	<p><b>チーム開発</b></p> <p>【概要】</p> <p>複数人でEコマースのWEBサービスを制作します。複数人で制作するため、コミュニ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- OS Linux(CentOS)</li> <li>- 言語</li> </ul>

	<p>ケーション、タスク管理、設計、開発、ソース管理を身につけるとともに、定期的なチームでの振り返りにより、どのような取り組み、意識をすることがチーム開発を円滑にすすめることが出来るのかを学習、実践します。</p> <p>【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Github Organization機能にて複数人でのソース管理</li> <li>・KPTによる振り返り</li> <li>・設計書作成(機能一覧、画面設計、データベース設計、モックアップ作成、アプリケーション設計)</li> <li>・実装</li> <li>・制作物のプレゼンテーション</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>ECサイト作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員機能</li> <li>・ログインによるセッション管理機能</li> <li>・商品一覧/詳細機能</li> <li>・カート機能</li> <li>・管理者機能</li> <li>・商品登録機能</li> <li>・購入履歴閲覧機能</li> </ul> <p>【作成物】</p>	<p>HTML,CSS,JavaScript,Ruby,SQL</p> <p>- フレームワーク Ruby on Rails Bootstrap</p> <p>- JSライブラリ jQuery</p> <p>- テストフレームワーク RSpec</p> <p>- その他ツールなど AWS Cloud9, Slack</p>
フェーズⅢ	<p><u>ポートフォリオ制作</u></p> <p>「◆ポートフォリオ」参照</p>	<p>「◆ポートフォリオ」参照</p>